



中央工産株式会社



CA-LINE Anodeは中央工産株式会社が長年に渡る豊富な経験と研究により開発された高性能アルミニウム合金アノードであり、国の内外から声価を受けております。

- 本社所在地：〒103-0022
東京都中央区日本橋室町1-11-8 4F
- 事業概要：アルミ、亜鉛、マグネシウムの粉末チップ・合金：加工製品の製造販売
- 常時使用する従業員：50人（2024年7月期）
- 現在の売上高：16.7億円（2024年7月期）
- 法人番号：5010001050212
- Web：https://www.chuo-kosan.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



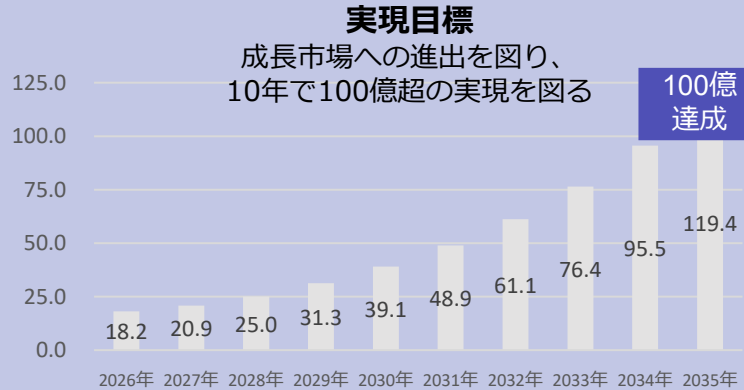
代表取締役
齋藤 護

◎ 非鉄金属で拓く次世代社会の未来 ◎

中央工産は70年以上、マグネシウム・アルミニウム・亜鉛の非鉄金属で「見えないところで社会を守る」ものづくりをしています。製造から再資源化までを一貫して担う独自のプロセスで金属リサイクルを推進し、環境負荷低減と経済性の両立を目指しています。これにより、資源循環型社会の実現に貢献していきます。

社会の土台を支え、従業員の豊かな生活も実現しながら、100年企業として社会の未来を創造していきます。

売上高100億円実現の目標と課題



課題

- 新市場への進出
国内・・・新エネルギーシステムのインフラ分野
海外・・・欧米市場の進出
- 課題
効率的な増産ラインの構築
生産技術開発力（加工内製化設備と研究体制）強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

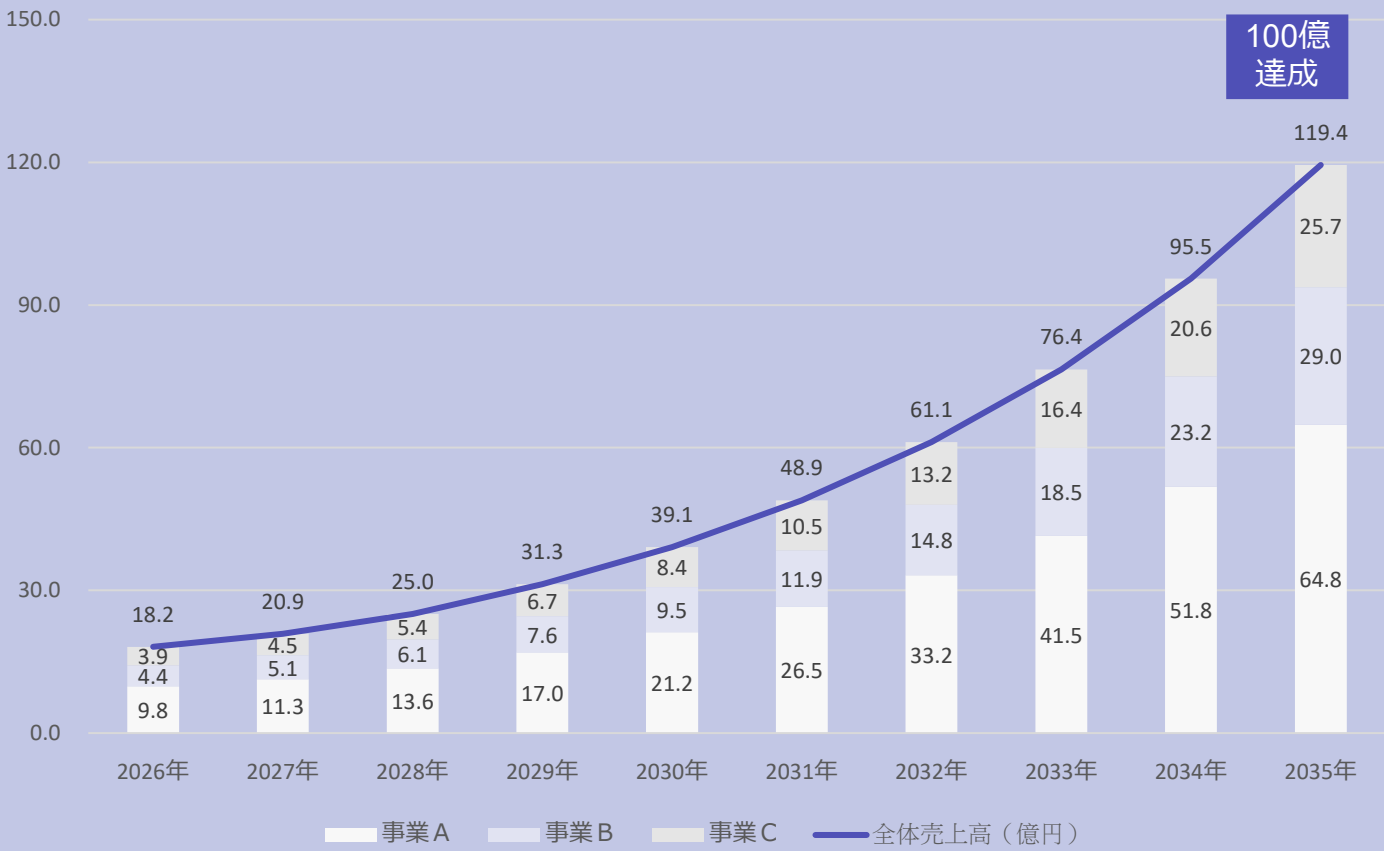
- ・スマート工場の構築
DX化、自動化、省力化を向上させた増産ライン確立
加工設備導入による試作開発の内製化
（ユーザーニーズに対するレスポンス加速化）
- ・販売チャネル（専門商社等）とのパイプ強化

実施体制

- ・栃木、千葉の2工場
増改築を含む、自動化省力化増産ラインの大規模設備投資
- ・社長直轄のマネジメント体制
各部門関係を集中マネジメントにより主導

スマート工場推進で効率的な増産体制を構築し
新市場進出を図る

売上高目標



各事業と新市場開拓

A事業—防蝕部材事業

アルミ、亜鉛、マグネシウム
各種陽極（アノード）品目

➡新エネルギーシステム市場の開拓

B事業—粉体チップ事業

➡触媒、化学メーカー開拓
（国内サプライチェーン強化ニーズ）

C事業—合金その他事業

➡主にマグネシウム合金の海外市場開拓
（脱中国依存ニーズからの進出機会）